

事務事業チェックシート

事務事業No

事業名

[事業基本情報]

843

障害児者外出支援事業

[長期総合計画]

分野別目標	4	誰もが安心して住み続けられる持続可能なまち
政策	9	将来に向かって希望の持てる福祉社会の形成
施策	3	障害のある人の自立と社会参加の推進
取組方針	3	社会参加・自立に向けた支援体制づくり

事業区分(1)	事業経費	○	管理経費	
	その他			
事業区分(2)	自治事務	○	法定受託事務	
	その他			
会計・ 予算区分	会計	一般会計		
	款	民生費		
	項	社会福祉費		
	目	社会事業費		
	大事業	社会事業（障害者支援課）		
	中事業	障害児者外出支援事業		

事業種別	継続		関連個別計画	和歌山市障害者計画		
事業年度	無し	～	無し	担当課・担当課長・Tel	障害者支援課	西岡 貞晶 435-1060
事業実施の根拠法令	障害者基本法第6条、第24条		関連課			

1 事業内容

事業目的	（「誰・何」をどういう状態にするための事業か）		全体事業概要			
	障害者の外出の促進を図り、福祉の向上に資する。		身体障害者手帳及び療育手帳所持者を対象に、バスカード、公衆浴場回数券、タクシー券（身体1、2級、療育A1、A2のみ）を配布する。バスカード、公衆浴場回数券は、1種の手帳所持者については介護人用も配布。			
事業内容	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度	
	身体障害者手帳及び療育手帳所持者（一部要件あり）を対象にバスカード、公衆浴場回数券、タクシー券を配布する。	身体障害者手帳及び療育手帳所持者（一部要件あり）を対象にバスカード、公衆浴場回数券、タクシー券を配布する。	身体障害者手帳及び療育手帳所持者（一部要件あり）を対象にバスカード、公衆浴場回数券、タクシー券を配布する。	身体障害者手帳及び療育手帳所持者（一部要件あり）を対象にバスカード、公衆浴場回数券、タクシー券を配布する。	身体障害者手帳及び療育手帳所持者（一部要件あり）を対象にバスカード、公衆浴場回数券、タクシー券を配布する。バスカード及び公衆浴場回数券について、選択制とする。	

2 事業コスト

事業費等（千円）	平成29年度		平成30年度		平成31年度		令和02年度		令和03年度	
	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	当初予算	決算	計画	決算
事業費	54,136	50,703	52,336	46,911	73,370	65,329	41,986	0	41,986	0
伸び率（%）	△3%	△4.6%	△3.3%	△7.5%	40.2%	39.3%	△42.8%	△100%	0%	0%
人件費	正規職員	4,627	4,946	4,956	7,193	4,994	9,907	9,907	0	9,907
	正規職員以外	0	0	0	252	260	2,040	2,040	0	2,040
	小計	4,627	4,946	4,956	7,445	5,254	11,947	11,947	0	11,947
国庫支出金	0	0	0	0	0	2,672	0	0	0	0
県支出金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
市債	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
その他	10,909	10,909	10,900	10,900	27,249	23,233	6,442	0	6,442	0
一般財源（税等）	43,227	39,794	41,436	36,011	46,121	39,424	35,544	0	35,544	0
所要人数（人）	正規職員	0.58	0.62	0.62	0.90	0.62	1.23	1.23	0.00	1.23
	正規職員以外	0.00	0.00	0.00	0.16	0.16	1.26	1.26	0.00	1.26
主な予算内訳	タクシー委託料、公衆浴場利用交付金、バス利用交付金等									

3 目標及び実績

活動指標	指標名	単位		平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和02年度	令和03年度
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値
活動指標	延交付対象者数（本人＋介護人・バス、公衆浴場、タクシー対象者数）	人	目標値					
			実績値	39312	32581	32581		
			達成度（%）	0%	0%	0%	%	%
				目標値				
				実績値				
				達成度（%）				
成果指標	利用券交付率（バス）	%	目標値	60	60	60	60	
			実績値	51.4	47.2	47.2		
			達成度（%）	85.67%	78.67%	78.67%	%	
	利用券交付率（公衆浴場）	%	目標値	50	50	50	50	
			実績値	48.1	44.3	44.3		
			達成度（%）	96.2%	88.6%	%	%	
利用券交付率（タクシー）	%	目標値	70	70	70	70		
		実績値	65	55.8	55.8			
		達成度（%）	92.85%	79.71%	79.71%	%		

4 事業の評価

評価基準					
[妥当性]事業のニーズはあるか		増加している	○	横ばい	減少している
[妥当性]事業手段は妥当か		現行の手段でよい	○	一部見直しが必要	見直しが必要
[妥当性]官民の役割は妥当か	○	市が行うべき		他の主体との協働も可能	市が行う必要性は薄れている
[妥当性]緊急的に取り組む必要があるか		急いで取り組む	○	中長期的に取り組む	緊急性は薄い
[有効性]更に効果が期待できるか	○	できる		あまりできない	できない
[有効性]成果目標ほどの程度達成しているか		達成している (90%以上)	○	おおむね達成 (70~90%未満)	達成していない (70%未満)
[有効性]上位施策への貢献度		重要かつ高い貢献度がある	○	一定の貢献度がある	貢献度は低い
[効率性]事業費を抑制できるか	○	できない		制約はあるが可能性はある	できる
[効率性]受益者負担の見直し	○	適正		負担は求められない	見直しが必要

5 今後の方向性 (担当課評価)

事業内容の方向性	充実			○	
	現状維持				
	縮小				
	廃止				
		ゼロ	縮小	現状維持	拡大
コスト投入の方向性					

担当課評価の根拠	タクシー券の枚数増加の要望があったことから、見直しを検討した結果、令和2年度から一部障害要件に該当する方を対象にタクシー券を従来の24枚に6枚増加した30枚を交付することとし、改善することができた。
見直し・改善内容	障害者団体からの要望もあり、タクシー券の枚数を増やす等の改善を行った。今後も予算が限られているが予算の範囲内ではあるが、障害者の方々のニーズに少しでも応えられるよう、努力工夫していきたい。